

住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 LGC21114 LGC31114



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」(1、2 ページ)を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

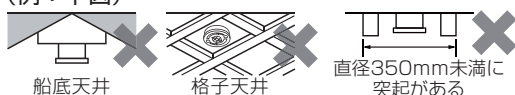
■天井

- 直径350mmの範囲に配線器具より飛び出している箇所のないこと
落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る

(例：下図)

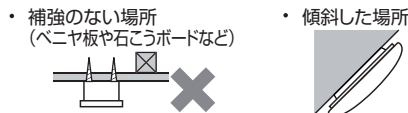


■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない



火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

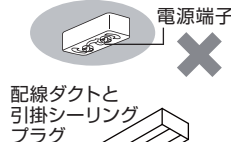
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの × ケースウェイに取り付けられたもの ×



既設の取り付けねじ ×



取り付け金具から取り外す ×



■その他

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- アダプタ・本体は確実に取り付ける
感電、落下してけがのおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用するそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気が多い場所や屋外で使わない。火災、感電の原因となることがあります。◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



接触禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- 点灯したLEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下により破損し、感電、落下してけがの原因となることがあります。
- 乳白カバーが破損した状態で使用しない。内部部品に触れると、感電の原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・ 長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・ 点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・ リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができます。
 - ・ 壁スイッチのOFF→ON操作で点灯状態を切り替えることができます。
- リモコンで消灯した場合は待機時電力を消費しています。
- 取り付け後、振動などにより本体が回転することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 短時間の停電時、消灯状態から点灯したり、点灯状態が勝手に切り替わることがあります。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお取り替えはできません。

【音響機器、情報機器の影響】

- 器具の近くではラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用メガネ、ビデオカメラのモニター、録画などの画像にちらつき、縞模様が発生することがあります。
- 他機器(スマートフォン、タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。

【リモコンの乾電池について】

- リモコンの乾電池は半年を目安に交換してください。ただし、付属の乾電池は器具取付時の動作確認用のため、早く消耗する場合があります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、本体、リモコンの送信部(📡)を定期的(6カ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

注意

- ・ 拭き掃除をする時、本体が回転しないよう押さえながら行ってください。回転すると、仮保持状態となり点灯しません。その場合は、本体を押し上げ確実に取り付けてください。🔧 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

- ・ 乳白カバーに無理な力を加えないでください。破損したり、本体と乳白カバーの間に隙間ができ、虫・ホコリの侵入を防ぐ効果が損なわれるおそれがあります。

確認

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。



仕様

☑ カバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

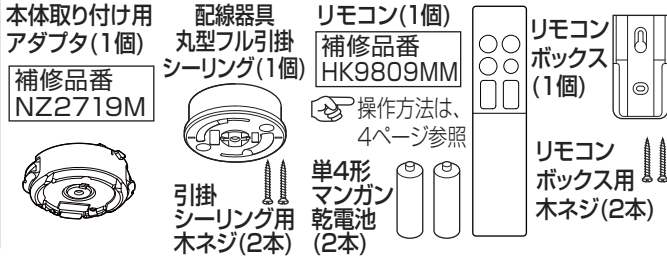
品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	畳数
☐ LGC21114	AC100V	50/60Hz共用	26.0W	リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.27A	~6畳
☐ LGC31114			30.9W			

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

各部のなまえと取り付けかた

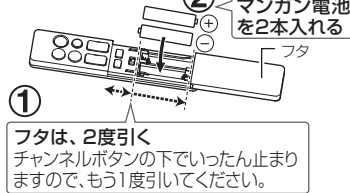
安全のため、電源を切ってから行ってください

付属部品



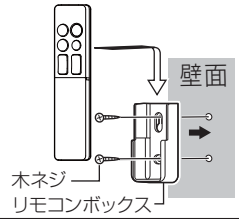
●電池の入れ方

リモコン、電池に記載の注意事項を守って



●リモコンボックスの使いかた

紛失防止のためにご使用ください。



確認

- 必ず壁スイッチを設けてください。
2ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

取り付け前に、1、2ページの「安全上のご注意」、ご使用に関するお知らせをご確認ください。

- 配線器具・スイッチの取り替え、取り付けが必要な場合は、販売店、工事店にご依頼ください。
(工事には資格が必要)

注意 配線器具に取り付ける前に、本体にアダプタを取り付けないでください。取り付けができません。

取り付けできる配線器具（下記以外には取り付けできません）



本体にはめ込んでしまった場合のアダプタの外し方



本体を取り付ける

- 天井の配線器具にアダプタを取り付ける
引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる
- カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

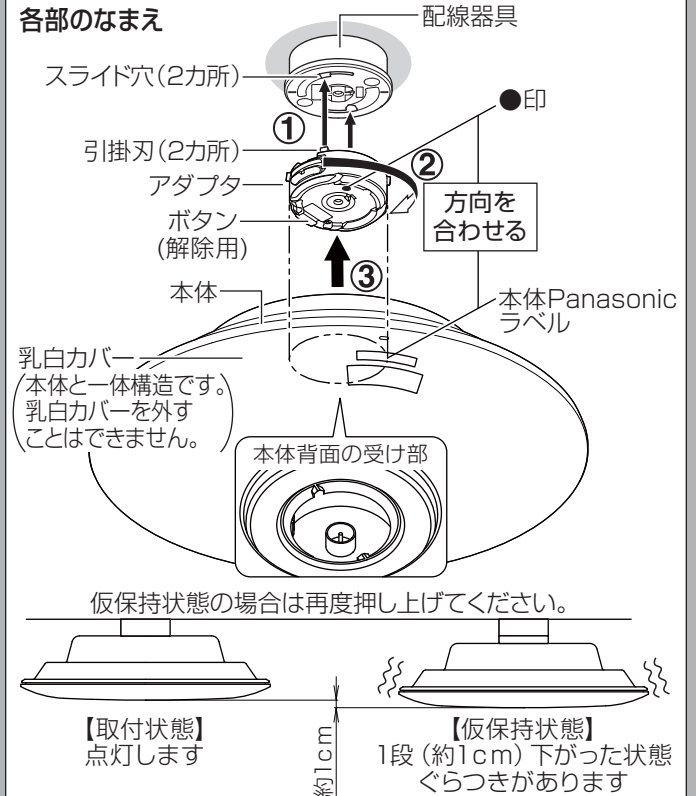
警告 アダプタは確実に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

- アダプタに本体を取り付ける
アダプタの●印と本体Panasonicラベルと方向を合わせガチャと音がするまで押し上げる

確認 本体が傾いて取り付いていたり、ぐらつきがある(仮保持状態)の場合、再度本体を押し上げてください。取り付け後、点灯するか必ず確かめてください。

警告 本体を押し上げて確実に取り付ける
点灯することを確認する
不備があると、落下によるけがのおそれがあります。

各部のなまえ

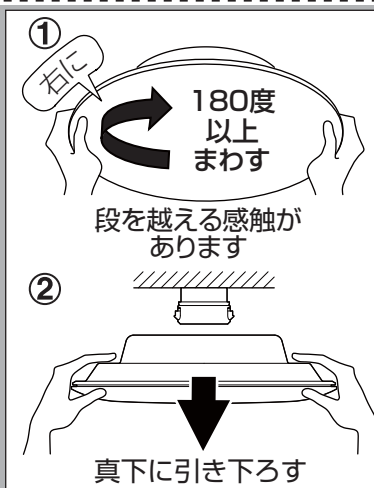


本体を取り外す

- 本体を右に回しロックを解除する
段を越える感触があります。
仮保持状態であることを確認する
取付状態から1段下がり、ぐらつきが大きくなります。
- アダプタから本体を取り外す
両手で本体を引き下ろす
※約5kgのものを持つぐらいの力が必要です。

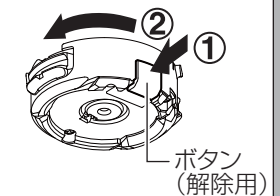
注意 本体が一段下がった仮保持状態で放置しない
落下によるけがのおそれがあります。

注意 器具が点灯できる状態で無理に引き下げない
器具破損、落下によるけがのおそれがあります。



アダプタを外す

- ボタンを押しながら
- 左に回す

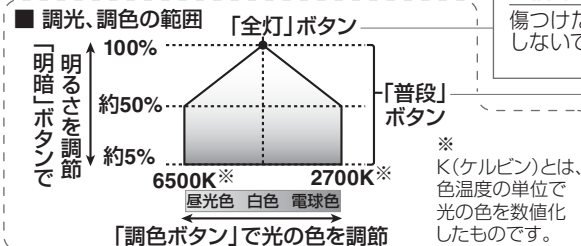


リモコンであかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください。リモコンの「全灯」「普段」であかりの切り替え、「明暗」「調色」で明るさ、光の色の調節ができます。

全灯ボタン

LEDが白色、明るさ100%で点灯します。



普段ボタン (初期設定: 白色、明るさ約70%)

LEDが前回「明暗ボタン」「調色ボタン」で調節(記憶)した明るさ、光の色で点灯します。

LEDの明るさ、光の色を調光、調色して記憶させる方法

- 1 「全灯」「普段」のいずれかのボタンでLEDを点灯
 - 2 「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節 → 記憶
- ※ 次回から「普段ボタン」で、調節した明るさ、光の色で点灯します。ただし、「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を変えると、その都度記憶が更新されます。

調色ボタン

LEDの光の色を白い色から暖かい色に連続で変更できます。

おやすみタイマーボタン

ボタンを押してから30分後に自動消灯を行います。

ON(30分後消灯)「ピッ」と音がする → OFF「ピーッ」と音がする

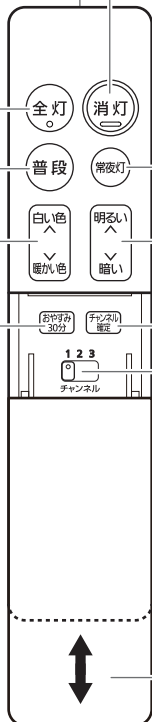
↑ 押すごとに切り替わります。

※ いずれの点灯状態、リモコンによる消灯状態でもタイマーはセットされますが、壁スイッチのOFF時はセットされません。

消灯ボタン

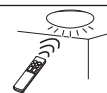
送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。



送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン操作時の音を消すことができます

壁スイッチをONにして30秒以内に

- 1 リモコンのフタをスライドさせてリモコンの「送信部」を器具に向ける

- 2 リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

※ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

常夜灯ボタン(蓄光)

(明るさ6段階) (初期設定: 明るさ100%)

常夜灯点灯時に「明暗ボタン」で明るさ調節すると、次回からその明るさで点灯します。

ただし、「明暗ボタン」で明るさを変更すると、その都度記憶が更新されます。常夜灯は調色できません。◎ 太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

明暗ボタン

LED(100%~約5%)の範囲、常夜灯(明るさ6段階)で明るさを変更できます。

チャンネル確定ボタン・チャンネルスイッチ

同じ部屋で複数の器具を個別に操作したい場合に使用します。

☞ 4ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

「おやすみタイマー」「チャンネル確定」「チャンネルスイッチ」使用時にフタをスライドさせます。

壁スイッチであかりを切り替える

壁スイッチで照明器具を操作できます。

点灯・消灯する

壁スイッチ ON

点灯



前回の「明るさと光の色」で点灯します

壁スイッチ OFF

消灯

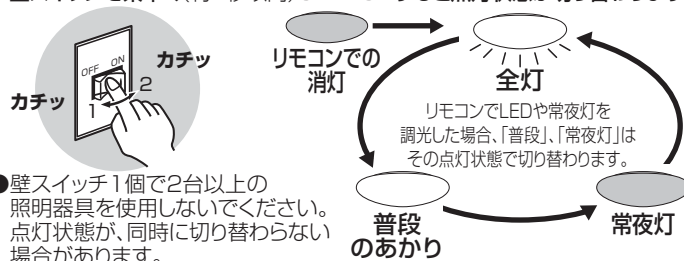


現在(消す直前)の「明るさと光の色」を記憶して消灯します

- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

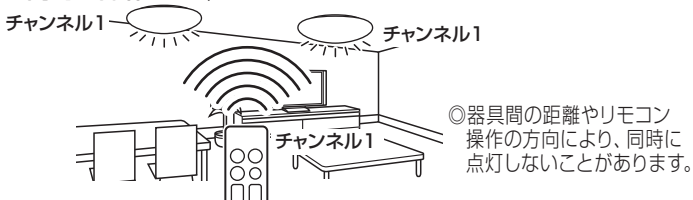
壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



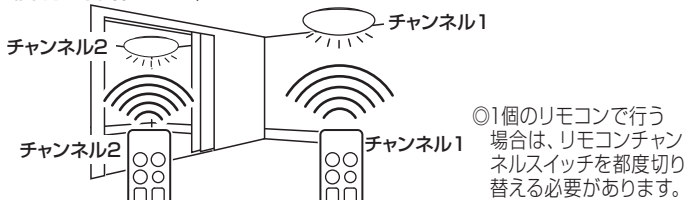
複数のリモコン照明器具を操作する

同時または個別に操作できます。

●同時に操作する (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●個別に操作する (例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



器具のチャンネル設定を変更する

- 1 壁スイッチ ON
 - 2 フタをスライドさせる
 - 3 リモコンの「送信部」を器具に向けて
 - 4 リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す → 「ピーッ」と音がして設定完了
- チャンネル設定を行う器具のみを壁スイッチONにする(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)
- リモコンのフタをスライドさせて希望のチャンネルに合わせる(チャンネルは1~3まで選べます。)
- リモコンの「送信部」を器具に向けて
- リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す → 「ピーッ」と音がして設定完了

メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが変更されることがあります。

リモコン操作できない場合はチャンネル設定が正しくありません。再設定してください。



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
アダプタに本体が取り付けかない	アダプタの●印と本体のPanasonicラベルと方向を合わせずに取り付けした	アダプタの●印と本体のPanasonicラベルと方向を合わせてから取り付ける	👉 3ページ
点灯しない	本体の取り付けが不完全で本体が仮保持状態となっている	本体を両手で水平に押し上げる	👉 3ページ
	壁スイッチがOFFになっているまたは、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	👉 4ページ 「壁スイッチであかりを切り替える」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	👉 4ページ
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます)	👉 4ページ 「リモコンであかりを切り替える」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	👉 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	👉 「付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	👉 4ページ 「器具のチャンネル設定を変更する」
リモコンで操作できない環境要因	他機器から出る赤外線の影響 スマートフォン・タブレット・3Dテレビなどの使用時	赤外線が出る機器をOFFして操作する	—
	リモコンの「送信部」を器具に向けて操作していない	リモコンを手に取り、「送信部」を器具に向けて操作する	👉 4ページ「リモコンであかりを切り替える」の「送信のしかた」
	リモコン操作位置が器具から遠い	器具の近くで操作する	—
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調光、調色(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光、調色動作が終わるとちらつきも止まります。	
「ビッピッピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合	<p>①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる</p> <p>②器具の設定をリセットする壁スイッチをONにして30秒以内に下記の㉠～㉢の操作を行ってください。</p> <p>㉠リモコンの「フタ」をスライドさせる</p> <p>㉡リモコンの「送信部」を器具に向ける</p> <p>㉢リモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す(「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。)</p> <p>●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、㉢を行ってください。また、記憶させていた点灯のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、再設定が必要です。</p> <p>③器具のチャンネルを設定する</p> <p>👉 4ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照</p>
-------------------	---

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () ー

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|------------------|
| ●製品名 | 住宅用照明器具 |
| ●品番 | 2ページ「仕様」をご参照ください |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

本体の修理対応

- 本体を分解して部品交換を行なうことはできませんので、修理対応に本体交換を行う為の部品（本体完成品）を準備しています。
- 不点などの故障、カバーの破損などが発生した場合は、上記の部品に交換となります。
- 交換した部品には、保証書は付帯しておりませんので、修理交換後も本保証書を保管願います。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

